

## 臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞ 前立腺癌と乳癌以外の骨転移における骨シンチグラムと放射線治療に関する観察研究
＜研究機関・研究責任者名＞ 日本大学医学部附属板橋病院 放射線治療科（研究責任者）石橋 直也
＜研究期間＞ 承認日 ～ 西暦 2021年 12月 31日
＜研究の目的と意義＞ 悪性腫瘍の50-75%が骨に転移する。肺癌では経過中に30-40%が骨に転移するとの報告がある。そして全身の骨転移の広がり进行评估するためには放射性製剤を使用した骨シンチグラフィが1回の検査で全身を撮影できるため簡便であり第一選択である。しかし骨シンチグラフィは骨転移ではない外傷や変性などでも放射性製剤が集積してしまう。そのため近年骨シンチグラフィ画像の定性化と定量化が人工知能を用いて行われており bone scan index (BSI) という指標が開発され BSI を自動算出するソフトが当院にも導入された。このソフトは主に前立腺癌や乳癌の骨転移に利用されておりその他の悪性腫瘍の骨転移での報告はほとんどない。そこで我々は肺癌や肝細胞癌などの悪性腫瘍の骨転移に対して放射線治療を行った症例について BSI や予後について検討する。 本研究の結果によっては前立腺癌と乳癌以外の悪性腫瘍の骨転移に対しての骨シンチグラムと放射線治療の意義が判明する可能性がある。
＜利用する試料・情報の項目＞ 過去に当院で前立腺癌と乳癌以外の悪性腫瘍の骨転移に対して放射線治療を行った患者さんについて臨床情報や骨シンチグラフィやCTやMRIの画像データ
＜対象となる患者さん＞ 2011年1月1日～2020年3月18日の期間に当院で前立腺癌と乳癌以外の悪性腫瘍の骨転移に対して放射線治療を開始した方
＜研究の方法＞ 過去に当院で前立腺癌と乳癌以外の悪性腫瘍の骨転移に対して放射線治療を行った患者さんについて臨床情報や骨シンチグラフィやCTやMRIの画像データと治療効果や予後について検討する。
＜お問い合わせ窓口＞ 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1) 放射線治療科 氏名:石橋 直也 電話:03-3972-8111 内線:(医局)2553 (PHS)8648